

## 流体工学セミナー 第二回

機械工学科 飯田 明由

アプレットを使って絵を書こう！

```
import java.applet.Applet;           //アプレットを使用します。
import java.awt.Graphics;            //グラフィッククラスをインポート
/*
  <applet code="DrawLine" width=200 height=200>
  </applet>
*/
```

```
public class DrawLine extends Applet {
```

```
    public void paint(Graphics g) {
        g.drawLine(10, 10, 180, 110);
    }
}
```

ペイントメソッドの中にグラフィック描画処理を記述

```
public void paint(Graphics g)
```

メソッド

オブジェクト

```
g.drawLine(x1,y1,x2,x2);
```

(x1,y1)座標から(x2,y2)座標へ線をひきます。ここで原点は画面の左上になります。

円を書く場合 drawOval(x1,y1,w,h)


文章を書く場合 drawString("文章",x1,y1) など

ファイルを作成したら、前回と同様に javac を使ってファイルをコンパイルし、\*.class を作成してください。

## 表示方法

HTML を使って JAVA プログラム ( アプレット ) を表示させます。

```
<html>
  <head>
    <title>流体工学セミナー</title>
  </head>
  <body>
    <h1>DrawLine</h1>
    <applet code=DrawLine.class width=400 height=400>
  </applet>
  </body>
</html>
```



作成したアプレットのクラス名を記述する。

HTML ファイル ( 拡張子 html または htm ) として save する。

Explorer 等で選択し、HTML を実行するとアプレットの内容が記述されます。